

VOL.11

2025.10.1発行

ハシダタイムズ

サポーターティングマッチで体験 ～ハシダ技研工業だけの特別な一日～

今回は、当社主催で行われたセレッソ大阪サポーターティングマッチの様子をご紹介します。普段は決して入れない試合直前のピッチサイドや選手のロッカールームにまで、足を踏み入れたとか……？夢のような体験が、ハシダ技研工業の福利厚生として実現しました。参加した社員とご家族が満喫した「特別な一日」の舞台裏をお届けします。



地域、そして社員と家族への感謝を込めて

当社がスポンサーを務めるセレッソ大阪。ヤンマー様からのご招待をきっかけに、サポーターティングマッチ主催の企画は動き出しました。日頃、会社の成長を支えてくれている社員はもちろん、ご家族の方々にも何か特別な体験をプレゼントしたい。そう考えたときに、サポーターティングマッチは絶好の機会だと思いました。社員とご家族を無料で招待し、一体となってチームを応援する。忘れられない思い出を共有することで、会社への誇りや、仲間との絆を深めるきっかけになるのではと考えたのです。



興奮と笑顔に包まれたスタジアム

当日は社員とご家族、総勢54名が参加。試合前にも、参加者限定の特別なイベントが用意されていました。普段は決して足を踏み入れることのできない試合直前のピッチサイドや、選手のロッカールーム、監督や選手が座るベンチなどの見学ツアー。目を輝かせながらベンチに座るお子さんたちの笑顔は、特に印象的でした。

さらに、試合開始直前には、吉岡社長によるキックインセレモニーも行われ、スタジアムのボルテージは最高潮に。試合が始まると、前半に先制を許す苦しい展開となりましたが、後半に見事な逆転劇を披露。4対2という劇的な勝利に、ハシダ技研工業の応援団も一体となって沸き上がりました。試合の合間には、スタジアムの電光掲示板に当社のロゴが大きく映写。私たちの会社が、この素晴らしい空間を創り上げている一員なのだと感じた瞬間でした。

イベントが育んだ、新たな誇りと一体感

普段の職場では見られない同僚の父親、母親としての一面や、部署や役職を越えて同じチームを応援する一体感。ピッチで繰り広げられた熱戦は、私たちハシダ技研工業の絆をも強く結びつけてくれました。

このサポーターティングマッチは、今後も毎年一度は継続していきたいと考えています。今回のイベントを通じて再認識したのは、社員一人ひとりと、そのご家族の笑顔こそが、会社の活力の源であるということです。仕事の成果だけでなく、こうした感動体験を共有することで生まれる一体感が、ハシダ技研工業らしさを形作っていくのだと思っています。

メッセージ

当社には、皆さんが仕事もプライベートも充実させられる、このような福利厚生があります。2026年はぜひ、全国の拠点から一人でも多くの方に参加していただき、大阪の地で一緒に盛り上がりましょう。スタジアムで皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

取締役

D. H さん



実は私、

〇〇なんです!

～仕事+αの情熱、語ります～

「実は……」と打ち明けられたその言葉の先には、私たちがまだ知らない、同僚の意外な特技や深い趣味の世界が広がっていました。
三者三様の「〇〇」をテーマに、仕事終わりや休日の過ごし方を覗いてみましょう。

実は私、
ジェットスキーが
得意なんです!



北大阪工場
サブチームリーダー

Y. I さん

私が情熱を注いでいるジェットスキーは、実はいろいろな競技ジャンルがあります。その中でも私が挑戦しているのは、海上にパイで設定されたコースを周回し、その速さと順位を競い合う白熱したレースです。このレースは年間を通じて全5戦行われており、幸いにも2025年度の開幕戦となった4月の大会では、3位に入賞することができました。2025年度のシリーズもいよいよ後半戦を迎え、残すは7月と8月の2大会となります。そして8月の大会は、大阪の貝塚市で開催される予定です。皆様温かいご声援が何よりの力となりますので、応援のほど、何卒よろしくお願いいたします。

実は私、
めっちゃ
泳ぎます!

北大阪工場

K. Y さん

幼少期、自宅の近所にあったスイミングスクールへ10年ほど通っていました。そこでは、クロールや平泳ぎをはじめとするすべての種目を泳げるようになり、さらに記録の向上を目指してタイム制のテストにも挑戦していました。若い頃のように速く泳ぐことは年々難しくなってきましたが、現在は肩こりや腰痛の予防といった、自身の健康維持を大きな目的として水泳に取り組んでいます。これからも、この心地よい習慣を末永く続けていきたいと思っています。

実は私、
メダカを飼って
いるんです!



桜井工場
チームリーダー

Y. Y さん

私の趣味は、約7年前から続けている改良メダカの飼育です。飼育を始めた当初はいろいろな柄のメダカを育てていましたが、4年ほど前からは奥深い魅力を持つ「三色メダカ」という種類に絞って、日々お話をしております。なぜ種類に絞ったかという点、三色メダカは親と全く同じ柄の表現を持つ個体が生まれるとは限らないからです。「どうすれば錦鯉を彷彿とさせるような、自分好みの表現を持つ一匹を作り出せるのか」と試行錯誤する時間に、大きな楽しさを感じています。もしご興味があれば、皆さんも一度この奥深いメダカの世界に触れてみてはいかがでしょうか。その魅力にハマる人はハマると思います。

みんなの地元自慢

再発見 ふるさと

私の地元は
長崎県!

小牧工場

K. I さん

※今回は派遣社員のため顔写真無し



地元の自慢
長崎空港

開港50周年を迎える世界初の海上空港で、見渡す限り海が広がっています。ちゃんぽんや角煮まんじゅうなど、ご当地グルメも充実。タイミングが合えば、航空会社の「手書き水アート」が見られることも。



地元の自慢
ガラスの砂浜

色とりどりのシーグラスで作られた人工の砂浜。空港が近く、飛行機や海を見ながら散歩を楽しめるとSNSでも人気。角が取れているため足に当たっても痛くありません。

おすすめグルメ

おおむら夢ファーム
ジュジュの
「アスパラアイス」

ジャージー牛乳と地元産アスパラガスを使った季節限定のアイス。甘さとフレッシュさが凝縮された一品です。



地元の自慢
おおむら夢ファームジュジュ

「ふるさとづくり大賞」の最優秀賞を受賞した観光農園。食育体験や直売所、レストランなどを景色と共に楽しめ、地元ではイベント後のご褒美スイーツを食べる定番の場所です。



海に囲まれた「トカイナカ」が地元の魅力。新幹線も開通してアクセスも抜群です。九州旅行の際はぜひ長崎へ!

私の地元は
兵庫県
宝塚市!



オートドア事業部

H. A さん

おすすめグルメ

『サンドウィッチ ルマン』
のたまごサンド

フワフワのたまごからし入り特製マヨネーズが特徴。タカラジェンヌ御用達としても有名です。

地元の自慢
宝塚歌劇団

全国に熱狂的なファンが多く、公演日は賑わいます。宝塚市の中学3年生は無料招待!興味があった私でも、とても面白かったため、ぜひ一度観に行ってください!

地元の自慢
炭酸水のウィルキンソンの発祥地

宝塚歌劇場の近くには炭酸の源泉を示す石柱や、ウィルキンソン専門の自動販売機もあります。

手塚治虫記念館や阪神競馬場など、子どもから大人まで楽しめる施設が充実。近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください!

社長の小部屋 vol.3

心に残るふるさとの風景、思い出の味

心に残る思い出、風景

獲物は鮎、目当ては肉!



5歳まで祖父母の家で育ちました。一緒に育てた野菜が本当においしかったのを覚えています。6歳から育った吉野は、春には山が桜色に染まり、夏は鮎釣りで賑わいます。中学生の頃、サッカー部の仲間と練習後に川で鮎を捕まえてはBBQ客にアピールし、対岸まで泳いで渡り、お返しにお肉をいただくのが楽しみでした。魚より肉が嬉しかった当時の思い出は、今も色褪せません。

おすすめの場所、おすすめの味

歴史と人情が薫る吉野の味



吉野山では、豊臣秀吉も花見に訪れた吉水神社がおすすめです。食べ物なら柿の葉寿司や吉野葛が有名ですが、ぜひ味わってほしいのが「小橋の焼き餅」です。数量限定のため予約は必須。現在は、サッカー部時代の後輩が味を受け継いでいます。また、吉野宮駅近く「来米飯店」の麻婆丼は、当時贅沢だった思い出の味。今でも帰省のたびに、懐かしい思い出に浸りながら味わっています。